

愛知県立大府高等学校で防災講座を行いました

7月2日（水）、愛知県立大府高等学校で「防災戦隊おぶれんじゃー」として防災意識啓発活動に参加する有志生徒8名に防災講座を行いました。

講座では、大府市でも被害のあった伊勢湾台風、9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害や水害対策の取組として流域治水を学習しました。東海豪雨では学校も浸水しました。

また、新技術を活用し、VRによる浸水擬似体験では、5つの避難行動から選択しますが、ほとんどの生徒が「近くの高層マンションへ逃げる」を選択していました。伊勢湾台風A | 語り部との対話も全員が体験し、「元の生活に戻ったのは、伊勢湾台風の後、何日ぐらいでしたか?」「避難情報はどこから知りましたか?」「伊勢湾台風の時、何を持って避難しましたか?」などの質問をしていました。

代表の生徒からは、「今回の講座を通して、伊勢湾台風など過去の水害を学べたことで、水害対策の第一歩目になったと思う。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの水防災に対する意識の醸成につながり、近い将来「防災（避難）インフルエンサー」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞、ケーブルテレビ「知多メディアネットワーク」に取材頂きました。

